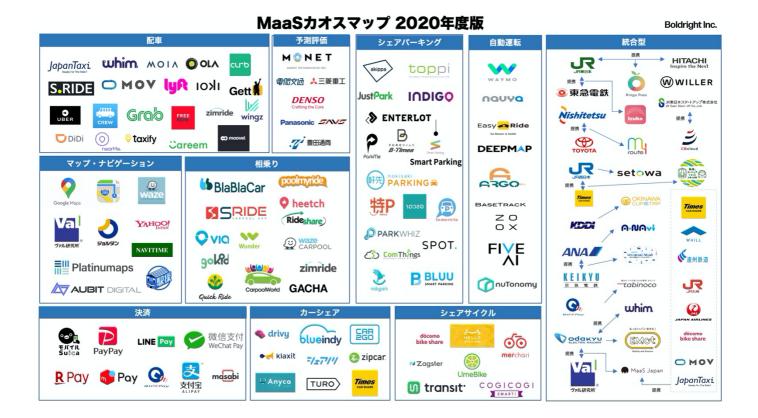
[Press Release]

【MaaS 業界カオスマップ】2020 年度版公開! 本格始動した国内 MaaS 企業からグローバル企業まで最新情報を独自調査

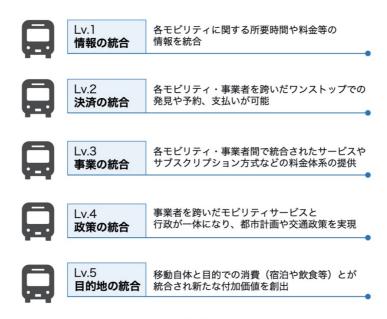
情報統合オリジナルマップソリューション「Platinumaps(プラチナマップ)」とモビリティの可視化システム「AUBIT DIGITAL(オービット デジタル)」を運営するボールドライト株式会社(本社:東京都新宿区、代表取締役社長:宮本章弘)は、「MaaS[1]業界カオスマップ 2020 年度版」を 2020 年 2 月 2 7 日(木)に公開したことをお知らせします。

[1]Mobility as a Service の略称。自家用車以外のすべての交通手段による移動を一つのサービスとして捉え、シームレスにつなぐ移動の新たな概念。



MaaS 業界 2020 年のトレンド

MaaS の市場規模は 2030 年に欧米中で合計 150 兆円、日本では 6 兆円を超えると試算されています。配車やシェアパーキング、自転車シェア等、単体のシェアリングサービスはすでに定着が進んでいますが、MaaS ではサービスの統合段階に応じて情報、決済、事業、政策、目的地の順に高度なサービス統合が提唱[2]されています。サービスの統合が最も進んでいるのは大手鉄道会社を中心とした MaaS プロジェクトであり、事業者間や行政が連携した6つの大型統合プロジェクトが 2019 年までに一般公開されています[3]。2020 年はこれら既存統合型サービスの拡大に加え、カテゴリを横断した事業間連携による統合型サービスの誕生が進むと想定されます。



MaaS統合レベル

[2]デロイトトーマツ「MaaS がもたらすモビリティ革命 日本版 MaaS の可能性」を基に作成 (https://www2.deloitte.com/content/dam/Deloitte/jp/Documents/consumer-business/dis/jp-dis-ths-maas.pdf) [3]2020 年 2 月現在当社調べ

注目カテゴリー

● 統合型

経路検索から決済・予約までを一気通貫するサービスが各エリアで複数誕生しており、マルチモーダルな MaaS アプリが国内でも実現しつつあります。たとえば JR 東日本、東急電鉄、伊豆箱根周辺の事業者が連携して実証実験中の Izuko は、目的地までの移動手段と目的地到着後に必要なレンタカー、路線バス、レンタサイクル、観光施設、宿泊施設までの情報を包括したサービスになっており、今後は各サービスでエリア拡大や連携サービス増加による利便性向上が期待されます。

● マップ・ナビゲーション

移動がシームレスにつながれるにあたり、**移動情報も分断されることない提供が期待**されています。注目されるのは、インターネットで乗換検索した際に表示される公共交通機関の時刻表や運行情報を表示するオープンフォーマット、GTFS[4]の活用です。GTFS は主要交通手段以外では登録が進まず、また地方部においては主要交通機関でも登録が進んでいない現状になっており、2020 年度は**従来のバス、電車、飛行機に留まらず、あらゆる交通機関での**GTFS 活用が拡大し、同時に地方部での活用も加速していくと想定されます。

[4]General Transit Feed Specification(GTFS): 公共交通機関の時刻表と地理的情報に関するオープンフォーマット。 GTFS の共通フォーマットで情報公開されることで、複数の公共交通機関の情報を利用する経路検索などの開発が容易になり、MaaS での活用が注目されている。時刻表のみを表示する「静的な GTFS」と、リアルタイムの運行情報を表示する「GTFS リアルタイム」 がある。

掲載したロゴ・サービス名称について

当マップ記載のロゴ・サービス名称の表記につきましては、掲載させて頂きました各社様に事前許諾を得ていないものもございます。当マップへの掲載に問題がある場合はお手数ですが https://boldright.co.jp までご連絡ください。

「MaaS カオスマップ 2020 年度版」高画質データは、こちらからダウンロード頂けます。

https://boldright.co.jp/press/20200227/download/figure1.png



Platinumaps (プラチナマップ) /デジタルマップ×データ分析

2019年4月に正式リリースして以降、大手航空会社のハワイ向け観光マップをはじめ、観光・周辺案内・店舗検索に特化した情報統合オリジナルマップソリューションです。移動において必須のマップに情報を統合することで必要な情報を見つけやすくし、かつてないシームレスな移動体験を提供。さらに従来取得できなかったオリジナルマップの利用データ分析から情報最適化を加速させます。



AUBIT DIGITAL (オービット デジタル) /モビリティの可視化システム

MaaS 時代における移動体の可視化ニーズに応じ、2020 年 1 月に発表されたモビリティトラッキング用 IoT デバイスと、その移動状況のマップ表示と周辺情報掲載の統合システムです。内閣府が推進する日本版 GPS 準天頂衛星「みちびき」に対応し、最高精度毎 5 秒、誤差 1m のトラッキングを実現。都心から地方まであらゆる移動手段の移動情報共有を変革します。

会社概要

社名:ボールドライト株式会社

事業内容:IoT/AIを活用したソリューション・サービスの開発および提供

代表者:代表取締役 宮本章弘

WEB サイト: https://boldright.co.jp
Platinumaps: https://platinumaps.jp
AUBIT DIGITAL: https://aubit.digital

≪本プレスリリースに関するお問い合わせ≫

ボールドライト株式会社 お問い合わせ: https://boldright.co.jp